

生誕 120 年 宮脇綾子の芸術 見た、切った、貼った 2025. 1.25 SAT ▶ 3.16 SUN

身近なモノを対象に、布と紙で美しく親しみやすい作品をつくりつづけた宮脇綾子（1905-1995）。アブリケ、コラージュ、手芸などに分類されてきた彼女の作品は、しかしいずれの枠にも収まりきらない豊かな世界をつくり上げています。モチーフにしたのは野菜や魚など、主婦として毎日目にしていたもの。それらを徹底的に観察し、時には割って断面をさらし、分解して構造を確かめる。たゆまぬ研究の果てに生み出された作品は、造形的に優れているだけでなく、高いデザイン性と繊細な色彩感覚に支えられ、いのちの輝きを見事に表現しています。[一般 1,300 円、高校・大学生 1,100 円、中学生以下無料] 宮脇綾子《ひの菜》1978 年 豊田市美術館



タピオ・ヴィルカラ 世界の果て 2025. 4.5 SAT ▶ 6.15 SUN

2019 年に開催したアルヴァ・アアルト展、ルート・ブリュック展につづくフィンランドのアーティスト、タピオ・ヴィルカラ（1915-1985）の日本初の大規模個展です。「ウルティマ・ツール」に代表されるガラスのプロダクトをはじめ、木の彫刻やオブジェ、写真など約 300 点を展示。常に自然に向き合いつづけ、その躍動や神秘にインスピレーションを受けたヴィルカラの世界に浸っていただきます。[一般 1,500 円、高校・大学生 1,300 円、中学生以下無料] タピオ・ヴィルカラ《ウルティマ・ツール》(部分) 1969 年 Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA - Espoo Museum of Modern Art © Ari Karttunen / EMMA



藤田嗣治 絵画と写真 2025. 7.5 SAT ▶ 8.31 SUN

国際的に活躍した画家・藤田嗣治（1886-1968）の絵画制作を「写真」を通じて再考する展覧会。本展では藤田の写真活用のプロセスを検証するとともに、日本とフランス・エソンヌ県に現存する彼の写真を数多く展示します。また、写真と絵画によって重層的かつ巧妙に演出された藤田自身のイメージにも注目。描くこと、そして撮ること。二つの行為を行き来した「眼の軌跡」を追いかけて、これまでにない語り方で藤田嗣治を紹介します。

[一般 1,500 円、高校・大学生 1,300 円、中学生以下無料]

ドラ・カルムス《猫を肩にのせる藤田嗣治》



インド更紗 [仮称] 2025. 9.13 SAT ▶ 11.9 SUN

染織の難しい木綿布に茜（あかね）や藍などの天然染料を用いて生産されたインド更紗は、宗教儀礼や室内装飾、服飾などさまざまな用途に使われ、鮮やかな色彩とのびやかなデザインが特徴です。大航海時代にはヨーロッパ各国で相次いだ東インド会社の設立に伴い、世界中へと輸出され、他国の要望に応じたデザインも生産されるようになりました。本展では、世界有数のコレクターが集めた選りすぐりの品々から、奥深いインド更紗の展開を紹介します。[一般 1,500 円、高校・大学生 1,300 円、中学生以下無料]



物語図掛け布の一部 インド南東部沿岸（スリランカで発見と伝わる） 18 世紀

小林徳三郎 [仮称] 2025. 11.22 SAT ▶ 2026. 1.18 SUN

小林徳三郎（1884-1949）は、若者たちが結成した前衛洋画家集団フェウザン会で活躍、画業半ば頃からは春陽会で作品を発表しました。彼は東京美術学校の後輩、萬鐵五郎の強烈な絵画をいち早く評価しましたが、自らは異なる制作姿勢を貫き、魚や野菜、家族、風景などの日常的な題材を、親しみやすく、かつ、洒落な作品に描き上げました。写真家、洋画家、文学者、演劇関係者、美術評論家などに認められた作品をご覧ください。[一般 1,300 円、高校・大学生 1,100 円、中学生以下無料] 小林徳三郎《花と少年》1931 年 ふくやま美術館



超無限の探究者 大西茂の写真と墨象 [仮称] 2026. 1.31 SAT ▶ 3.29 SUN

数学から写真、そして墨象へ。唯一無二の道を歩んだ孤高の芸術家・大西茂（1928-1994）。ニューヨーク MoMA をはじめ欧米で絶賛された彼の日本初回顧展を開催します。戦後日本が躍動を始めた 1950 年代、大西は位相数学に基づく独創的な写真と墨象を世に問いました。瀧口修造、具体美術協会、ミシェル・タビエなど同時代のパイオニアたちを矚目させた彼の芸術は、いま再評価の途上にあります。国際的に活躍した「知られざる異才」の探究は必見です。[一般 1,300 円、高校・大学生 1,100 円、中学生以下無料]

2024.12

開館時間 = 10:00 - 18:00 [金曜日 - 20:00] * 入館は閉館の 30 分前まで

休館日 = 月曜日 [祝日の場合は翌平日休館。会期最終週・GW・お盆期間中の月曜日は開館]、展示替期間、年末年始

* 開催内容・会期は変更することがあります。最新情報は当館ウェブサイトでご確認ください

東京ステーションギャラリー | 東京都千代田区丸の内 1-9-1 | ☎03-3212-2485 | www.ejrcf.or.jp/gallery/ | JR 東京駅 丸の内北口 改札前